

産業系開発（野田市関宿元町地区）の概要

地区の現況

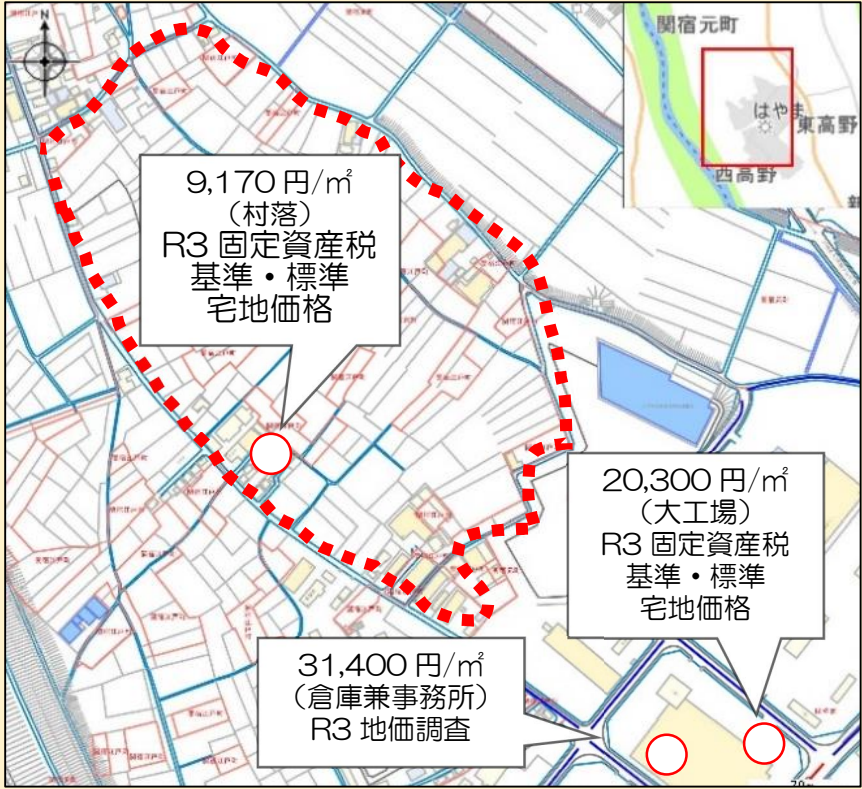
【関宿元町地区の現況】

所在地	千葉県野田市関宿元町
地積	約17.9ha
鉄道駅	東武野田線川間駅から約13km、東武動物公園駅から約10km
バス	川間駅から関宿はやま工業団地まで通勤時間帯3～4回/時
土地利用現況	農地、住宅地、工業地
周辺の土地利用	地区東側 農地（水田） 地区南側 関宿はやま工業団地 地区西側 畑及び宅地 地区北側 畑及び宅地
埋蔵文化財	地区内 包蔵地なし 地区外北側 雲国寺内貝塚 地区外西側 内町貝塚
道路	五霞IC～関宿元町地区 約6km 境古河IC～関宿元町地区 約8km ※関宿はやま工業団地地区内道路を経由した場合の実走行距離
送電線	線下地なし
上下水道	一定程度整っている
洪水危険度	全体的に危険度が高く、予想最大浸水深は5～10m (2020年度想定最大規模版)
液状化危険度	地区内に危険度の高い区域はない
法規制	地区全域が市街化調整区域、農業振興地域（白地）

【航空写真】



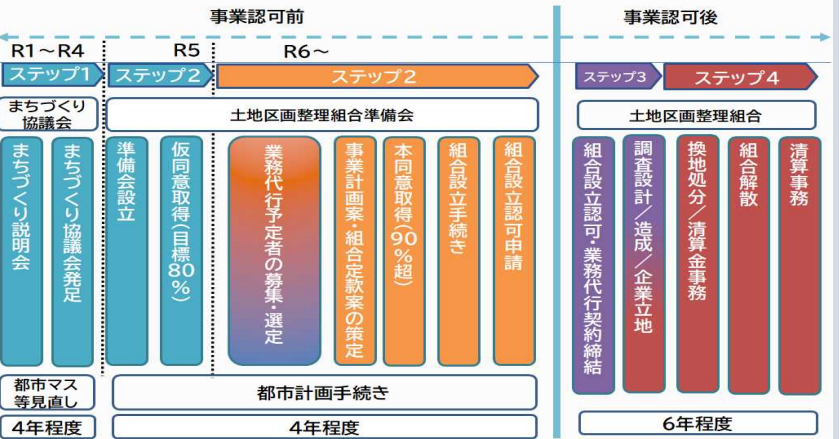
【周辺の地価】



事業化スケジュール

- ・ 2028年度（令和10年度）の事業化を目指し、地権者の合意形成を図りながら、調査、設計、計画を進めていく。
- ・ 都市計画や農振除外についての千葉県との協議、手続きは市が計画的に進める。
- ・ 野田市として、千葉県の立地企業補助金制度による優遇策や負担の軽減策を検討したいと考えており、県の企業立地課等とも連携を図り、進出意欲が高まる誘致策を進めていく。
- ・ 事業の各段階における、民間活力の導入可能性を検討していく。

事業スケジュール



アンケート調査結果

地区内の地権者88名及び市内の企業139社を対象にアンケートによる意向調査を行った。

【地権者対象】期間：R2年11月16日～12月4日

- ・ 回答率：約80%
- ・ 事業の賛同率：約96%
- ・ 事業化後の土地利用が売却希望の率：約70%
- ・ 事業化後の土地利用が貸付希望の率：約7%

【市内企業対象】期間：R3年2月15日～3月31日

- ・ 回答率：約35%
- ・ 地区内への立地を検討すると回答した社数：7社（現在8社）

事業構想

【事業手法】

- ・ 土地区画整理事業によるまちづくり
- ・ 民間活力を活かした業務代行方式による組合施行を想定

【土地利用計画図（案）】



【整備の方針】

- ・ 関宿元町地区は幹線道路に接続していないため、関宿はやま工業団地または県道結城野田線からの交通アクセスを確保する。
- ・ 産業系土地利用を目的とし、企業活動の効率化とともに、周辺の農地や既存住宅に配慮した計画とする。
- ・ 地区内には住居のほか中小企業の工場等も数社立地しているため、区画に配慮する。